

表紙題字

志賀 磐 峰 (志賀正紀相談役)

書道研究 『書聖会』教範

書道研究 『臨池会』師範

挿 絵

村 上 恭 子 (ペンネーム:COM)

静岡県藤枝市出身。女子美術大学を卒業後、就職。そして独立しプロイラストレーターとして活躍中。

主な作品例

挿 絵:SD文庫 はっぴいセブンシリーズ

挿 絵:コバルト文庫 青山電脳倶楽部シリーズ

カット:アクエリアンエイジカードシリーズ 等

編集委員

委員 長 村松 章司

副委員 長 杉山 芳教

〃 上杉 勇

委 員 村松 宏

〃 村上 善洋

〃 小林 順

〃 鈴掛 誠

〃 佐藤 友康

〃 井上 俊雄

編集後記

40周年記念誌の発行にあたって

平成17年は、昭和で数えると80年であり、また戦後60年という節目の年です。

協会は昭和40年に9社で設立以来多くの変遷を経て40周年を迎えました。

皆さまのもとに「40周年記念誌」を届けることが出来ることは協会員の喜びであります。発行にあたりご協力いただいた正会員および賛助会員そして原稿をお寄せ下さった皆さまありがとうございました。

今年はオリンピック開催の次の年で、世界水泳、陸上選手権が開催され、深夜までテレビに釘付けになりました。野球では大リーグのニュースが毎日流れてきます。スペースシャトルでの野口さんの活躍もありました。その反面では、イラクに平和が訪れず飛行機事故などの暗いニュースの多い年でもありましたが、「愛・地球博」には2200万人を超える人が訪れ大勢のエコな人が誕生しました。

誌面にも掲載しましたが、当協会は全国からみても歴史の長い協会です。

協会歴代役員の名簿の資料を集めてまとめをしてみますと、多くの先輩の努力と活躍のうえに今日があることをあらためて実感しました。いま(設備)設計業界は岐路に立っていると思います。先輩の築いた土俵でただ夢中で相撲をとってはいませんか? 次の世代の会員に何を伝えるかその努力をしていますか? 41年目を迎えるに当たり協会全員で考えていきます。

記念誌の作成は広報委員会が担当に決まり、3月に全体の構成を検討して5月から具体的な作業に入りました。30周年以降に事務局が今のところに移ったこともあり、見つからない資料もあり諸先輩方に協力をいただきまとめることが出来ました。

広報誌「風とあかり」は創刊が昭和63年で平成の時代とともに育ってきたこととなります。その時も今回も一緒に携わった委員もいて当時の苦労話をしたり、巡り合わせの縁を感じそして記念誌を担当できたことを嬉しく思いながら作業を進めました。

誌面から40年の歴史に思いを馳せていただき、そして次のステップへのスタートになることを願います。

最後に、この厳しいなかで記念誌を発行できたことは皆さまの協力のおかげであり、厚くお礼申し上げますと同時に、協会へのますますのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

広報委員長 村松 章司

記念誌編集委員会



佐藤、小林、村松、井上、村松委員長、鈴掛、村上、杉山、上杉

平成17年11月

記念誌 「40年のあゆみ」

風とあかり (VOL.27)

発行・編集 社団法人静岡県設備設計協会

事務局 〒422-8077 静岡市駿河区大和2丁目6番5号
(東京堂ビル208)

電話 054(284)3088

FAX 054(284)3095

E-mail sepa@po4.across.or.jp

ホームページ <http://sepa-jp.com/>

印刷 黒船印刷株式会社